

岐阜市新庁舎建設基本計画の骨子

第 1 章 新庁舎建設の必要性

1 現庁舎の抱える課題

- ・老朽化
- ・耐震性
- ・アスベストの飛散
- ・狭あい・本庁機能の分散
- ・バリアフリー
- ・セキュリティ

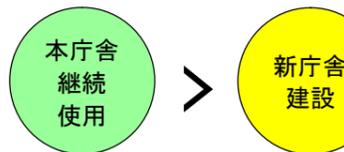
表 5 庁舎の概要

| | 築年次 (年) | 延床面積 (㎡) |
|-------|------------|-------------|
| 5 庁舎計 | — | 23,925.71 |
| 本庁舎 | S41 | 17,439.58 |
| 南庁舎 | S35 | 4,986.36 |
| 西別館 | S32 | 447.91 |
| 北別館 | S45 | 497.70 |
| 明德庁舎 | S42 | 554.16 |

2 本庁舎を継続使用する場合と新庁舎を建設する場合の比較検証

(1) ライフサイクルコスト

今後 20 年間のコスト※比較
※建設費+維持管理費



- 本庁舎を継続使用しても今後 20 年間では建替えが必要
- 新庁舎はバリアフリー等の改修費用が不要
- 合併特例債の活用で市の財政負担は大きく軽減

(2) 課題の解消状況

現在の**本庁舎を継続使用**することは多くの課題を**根本的に解消できない**（耐震性/バリアフリー/セキュリティ）

合併特例債を活用して新庁舎を建設することが必要

第 2 章 新庁舎建設の基本的考え方

市民に親しまれ、長く使い続けることを前提とした新庁舎

【市民にとっての市庁舎】

- 市庁舎に対する**市民の想いを把握**し
- 岐阜市で**将来暮らす世代**にまで**想いを馳せ**
- 市庁舎を使い続ける間は、**市民が利用しやすく**
- 市民に親しまれ、愛される**建物

【長く使い続けられる市庁舎】

- 平常時はもちろん、**非常時も市役所としてのパフォーマンスを最大限に発揮**
- 将来の市役所を取り巻く様々な環境の変化に柔軟に対応**
- 現世代及び将来世代のコスト負担を少しでも軽減**

第 3 章 新庁舎に求められる機能

※**朱書き**は新たな機能

1 窓口サービスなどの利便性等の向上

気持ちよく用件が済ませられる市庁舎

- 窓口業務を低層階へ集約配置し、ワンストップサービス**を導入
- プライバシーに配慮した相談ブース等の設置
- ユニバーサルデザインの考え方を取り入れた整備の推進 など

2 周辺環境との調和、環境負荷の低減

市民から親しまれ、愛される市庁舎

- 機能性と周辺との調和を考慮した建物デザイン
- 市民どうしが交流する空間の創出
・ぎふメディアコスモスとの機能分担と連携
- 環境負荷の低減
・自然エネルギーの有効活用等 など

3 非常時優先業務及び復旧・復興業務拠点としての機能強化

災害にいち早く対応し、迅速にまちの復旧・復興に取り組む市庁舎

- 優れた耐震性の確保**
・一般建築物の 1.5 倍相当の耐震性能
- 災害対策本部の運営に必要な設備の備え付け
・情報通信機器、大型モニター等
- 非常時優先業務の継続 など

4 執務環境の柔軟性・効率化

ICT 等を活用して市民サービスを充実し、施策満足度を高める市庁舎

- ICT 利活用に必要なシステム、設備等の導入
- フリーアクセスフロア**（二重床）の導入
- 間仕切のないオープンフロアの採用
- 業務上のつながりを考慮した課の配置 など

5 セキュリティ対策、電子情報保護対策の強化

大切な財産である個人情報等を守り続ける市庁舎

- セキュリティシステムの適切な導入**
- 時間外**における**来庁者動線の適正化**
・庁舎の防犯性確保
- サーバ機器の適正管理、パソコン等の盗難防止 など

6 ライフサイクルコストの縮減

現世代及び将来世代のコスト負担を軽減する市庁舎

- 標準品、汎用品、規格品等を積極的に採用し、メンテナンスのしやすさを実現 など

第 4 章 新庁舎建設の基本指標

1 想定人口

約 40.4 万人

◆平成 32 年の推計人口
(ぎふ躍動プラン・21)

2 想定配置職員数

約 1,600 人 (嘱託職員を含む)

◆新庁舎への配置部署

- 5 庁舎（本庁舎/南庁舎/西別館/北別館/明德庁舎）
- 上下水道料金センター
- 都市防災部（都市防災政策課/防災対策課）
- 健康部の政策立案部署（健康政策課/スマートウエルネス推進課/健康増進課）

◆将来職員数の考え方

- 福祉、医療、介護等に対する**高齢者のニーズの増加、市民の価値観の複雑化・多様化**
⇒市役所が担うべき**機能や役割はますます高まる**ことが想定される
- 地域の事務所は ICT の進展等で**業務量や窓口サービスのあり方が変化**
⇒しかし、本庁舎の職員数には大きく影響しない

行財政改革の更なる徹底により職員数を適正化

なお、配置職員数は**現状の職員数を想定**

3 想定議員数

41 人

◆現在の条例定数

第5章 新庁舎の規模、建設地等

1 新庁舎の規模、施設構成

◆延床面積

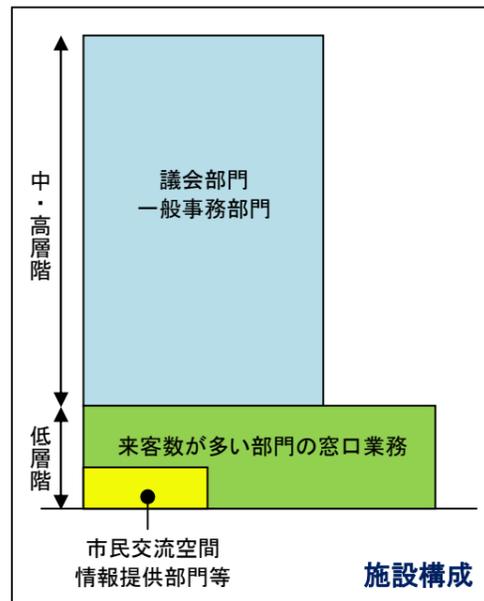
約 41,000 m² (総務省の地方債算定基準を活用)

[参考]類似規模都市との面積比較(下表)

本市は、比較的コンパクトに庁舎を整備・運用する都市を想定

表 類似規模都市の延床面積等

| | 基本指標 | | | 新庁舎関連指標 | | | | |
|-----|--------------------------|--------------------|--------------------------|------------|-----------------|------------------------|-------------------------------|----------------------------------|
| | 面積 (km ²) | 人口 [H25] (人) | 職員 定数 [H26] (人) | 竣工年 (年) | 想定 人口 (人) | 想定 配置 職員数 (人) | 延床 面積 (m ²) | 職員1人 あたり (m ²) |
| 岐阜市 | 202.89 | 416,750 | 3,770 | H32 | 404,000 | 1,600 | 41,000 | 25.63 |
| 高崎市 | 459.41 | 374,655 | 2,628 | H10 | 371,302 | 1,413 | 44,774 | 31.69 |
| 町田市 | 71.64 | 426,205 | 3,116 | H24 | 430,000 | 1,314 | 41,510 | 31.59 |
| 富山市 | 1,241.85 | 420,496 | 4,759 | H4 | 400,000 | 1,200 | 43,471 | 36.23 |
| 一宮市 | 113.91 | 386,447 | 3,833 | H26 | 370,000 | 1,150 | 31,140 | 27.08 |
| 那覇市 | 39.27 | 320,889 | 2,719 | H24 | 325,000 | 1,500 | 38,586 | 25.72 |



2 新庁舎の建設地

岐阜大学医学部等跡地

- 当地には『みんなの森 ぎふメディアコスモス』と『憩い・にぎわい広場』があることから、これらを訪れた市民が新庁舎へも気軽に立ち寄ってもらえるような庁舎づくりを目指す。
- 『新庁舎』と『メディアコスモス』で集客力の相乗効果を発揮し、また、当地で生まれたにぎわいを柳ヶ瀬や中心市街地全体に波及させることを目指す。

◆建設地選定の考え方

ア 評価対象地の属性比較

| | 現庁舎敷地 | 岐大医学部等跡地 | 徹明小学校 | 文化センター・金公園 | 岐阜競輪場 | 市街地再開発ビル |
|-----------------------|----------|----------|-------|------------|-------|----------|
| ① 市民の利便性 | △ | ○ | △ | △ | × | △ |
| ② 機能の実現性 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × |
| ③ 敷地規模 | ○ | ○ | ○ | △ | ○ | × |
| ④ 中心市街地活性化 | ○ | ○ | △ | ○ | × | ○ |
| ⑤ 建設コスト | △ | ○ | △ | × | × | ○ |
| ⑥ 合併特例債の活用期限内における建設可否 | ○ | ○ | × | × | × | × |
| 建設候補地 | ◎ | ◎ | - | - | - | - |



イ 現庁舎敷地における建設工事上の特記事項

- 駐車場整備を含めた全工事期間が長い
⇒来庁者及び近隣住民が長期間不便・迷惑
- 来庁者用駐車場の不足する期間がある
⇒民間駐車場の借り上げが必要 …など

ウ 市民意見の募集結果

- 平成 16 年度に実施した岐大医学部跡地利用に関する意見募集
⇒要望の高い施設が「市庁舎」と「図書館」

第6章 新庁舎の事業費、事業手法及びスケジュール

1 想定事業費等

(1) 事業費 約 200 億円

(内訳)

| | |
|----------|--------------------|
| 約 160 億円 | 新庁舎本体工事費 |
| 約 40 億円 | 設計費、駐車場整備費、現庁舎解体費等 |

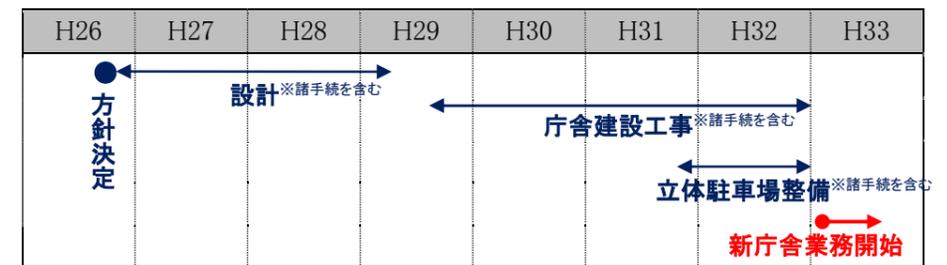
(2) 財源 基金 約 110 億円

庁舎整備基金、
岐阜大学医学部跡地整備基金
合併特例債 約 90 億円

2 事業手法等

| 項目 | 方式 |
|--------|-----------------|
| 事業手法 | 直営方式 |
| 発注方法 | 設計施工分離方式 |
| 設計者の選定 | 公募型 プロポーザル方式 |

3 スケジュール



第7章 今後の検討課題

- 設計、建設過程の積極的な広報と広聴
- 設計、建設過程の事業費圧縮の取り組みの推進
- 市内事業者が建設に参加できる仕組みの構築
…地域経済の活性化、技術力の向上
- 現在の本庁舎の跡地利用の検討
…現本庁舎の用途廃止後は、速やかに次の事業着手ができるよう、検討を進める
- 中心市街地活性化施策との連携
…新庁舎とメディアコスモスに集まった人々が、柳ヶ瀬等に出掛ける取り組みの推進
- 周辺景観との調和への配慮
…岐阜市景観計画の重要区域(金華区域、金華山・長良川区域)に近いことへの配慮
- 長く使い続けることを念頭に置いた取り組みの推進
…現本庁舎の使用期間(50 年余)を上回って使い続けることを想定したつくり込み